

【 Materials 】

- 血清培地; RPMI1640-glutamax (Gibco,16870), 10%FBS, 1% penicillin and streptomycin (Gibco, 15140)
- 無血清培地 ; ReproFF2 (Repro cell), 20ng/ml EGF (Upstate, 01-101), 10ng/ml basic FGF (Life Technologies, 13256-029), 5μg/ml human insulin (sigma, I9278), 0.5% BSA (sigma, A7979)
- Cell-able® 12well (東洋合成工業, CP12)
- 2D collagen plate (住友ベークライト, MS-0012K)
- 細胞 : DU145
- Accutase (Innovative cell Technologies, AT-104)
- ダルベッコ PBS (DPBS)

【 Methods 】

◆ 血清培地の調製 (100ml)

RPMI1640-glutamax	89ml
FBS	10ml
Penicillin streptomycin	1ml

◆ 無血清培地の調製 (100 ml)

ReproFF2	98.25mL
20μg/ml EGF	100μL
5μg/ml basic FGF	200μL
10mg/ml human insulin	50μL
35% BSA	1.4mL

◆ 培養

- ① 血清培地を用いて定法にてフラスコなどで培養した DU145 から培地を除去し、DPBS で2回洗浄する。
- ② Accutase を添加し、37℃で5分程度インキュベーションし、細胞を剥離させる。
- ③ 細胞分散液を2本の遠心管に分割し、それぞれ等量の血清培地又は無血清培地を添加し、Accutase を希釈する。
- ④ 160×g 3分間遠心後、上清を除去し、血清培地又は無血清培地を1ml添加して再分散させる。
- ⑤ それぞれの細胞数をカウントし、血清培地又は無血清培地で50,000 cells/ml に調整する。
- ⑥ それぞれの細胞分散液を2D 12 well plate 又は Cell-able 12 well plate に1ml/well ずつ分注し、すぐに培養を開始する。細胞が沈んでから移動すると、well の中で細胞の偏りが出来るため、分注後すぐに plate をインキュベーターに移す。
- ⑦ 培地交換は各培地を用いて2~3日おきに行い、7日間培養する。
- ⑧ 培養7日目に Accutase を使って細胞を剥離し、同じ培養条件で継代し、さらに7日間培養を行った。

注) 資料中のデータは一例であり、実験結果を保証するものではありません。

お問い合わせ先

 住友ベークライト株式会社

S-バイオ事業部 

E-mail : s-bio@sumibe.co.jp

TEL : 03-5462-4831, FAX: 03-5462-4835

製造元：東洋合成工業株式会社  TOYO GOSEI

〒111-0053 東京都台東区浅草橋1-22-16

ヒューリック浅草橋ビル8階

Tel 03 (5822) 6186, Fax 03 (5822) 6187

Email cell-able@toyogosei.co.jp

URL: www.toyogosei.co.jp

販売元：  住友ベークライト株式会社

S-バイオ事業部 マーケティング・営業部

〒140-0002 東京都品川区東品川2-5-8 天王洲パークサイドビル

Tel: 03 (5462) 4831, Fax: 03 (5462) 4835

E-mail : s-bio@sumibe.co.jp

URL : www.sumibe.co.jp/product/s-bio/